

20歳からの

令和7年度

個別検診
(医療機関受診)

子宮頸がん検診

他の誰のためでもなく、私のために

近年、子宮頸がんは20～30代に増加しています。子宮頸がんは初期症状がほとんどありません。2年に1回の定期的な検診受診で子宮頸がんを予防しましょう。

保健センターで行う「集団検診」での受診を希望する場合は、保健センターへご連絡ください。



◎対象者の年齢は、令和8年3月31日時点の年齢です。

- ◆実施期間 令和7年6月9日(月)～11月29日(土)
- ◆検診内容 問診、視診、内診(婦人科の診察)、子宮頸部細胞診
- ◆対象者 20歳以上で奇数年齢の人 ※前年度(令和6年度)未受診の人は、偶数年齢でも受診可。
- ◆検診料金 500円

<無料クーポン券対象者>
 21歳、26歳、31歳、
 36歳、41歳
- ◆持ち物 子宮頸がん検診受診票、検診料金、マイナ保険証または資格確認書、無料クーポン券(対象者のみ)
- ◆受診方法 ※受診票の太枠内「問診」は記入してから持参してください。
- ◆実施場所 ご自身で指定医療機関へ行く ※医療機関によっては事前予約が必要です(下表参照)。

下表の指定医療機関(㊸、㊹は休診)※医療機関の都合で、急に休診となる場合があります。

	医療機関名	住所	電話	予約
①	公立館林厚生病院	館林市成島町262-1	72-3140	要
	休診日:㊸	※平日の14:00～16:00の間に電話予約を←		
②	真愛ウィメンズクリニック	館林市本町3-4-5	72-1630	要
	休診日:㊸(午後)、㊹(午後)	※医療機関ホームページの WEB予約 から←		
③	土井レディースクリニック	館林市苗木町2599-128	72-8841	—
	休診日:㊸(午後)、㊹(午後)			
④	まりレディースクリニック	館林市木戸町648	76-7775	要
	休診日:㊸(終日)			
⑤	井上医院	邑楽町中野213	88-6300	—
	休診日:㊸(終日)、㊹(午後)	※検診は16:30まで。		
⑥	小西医院	千代田町赤岩西4-5	86-2261	—
	休診日:㊸(午後)			
受付開始 9/1～⑦	明和レディースクリニック	明和町新里64-1	57-8360	要
	休診日:㊸(午後)、㊹(午後)、㊺(午後)、㊻(終日)、㊼(午後)、㊽(午後)			

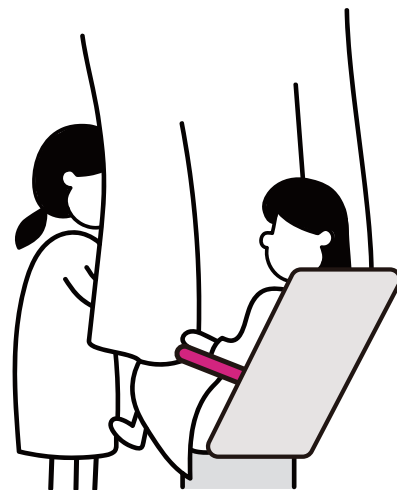
- ◆精密検査 子宮頸がん検診の結果「精密検査が必要」となった場合、その精密検査にかかる費用は保険診療(有料)になりますので保険証は必ず持参してください。また、検診や精密検査の結果は、医療機関から町へ報告されます。

問合先 邑楽町役場健康づくり課(保健センター) ☎0276-88-5533

子宮頸がんは、近年、罹患率・死亡率ともに若年層で増加傾向
20～30歳代で急増し、40歳代がピークです。

子宮頸がん検診の有効性

子宮頸部の細胞診による子宮頸がん検診は、子宮頸がんの罹患率・死亡率を減少させることができる確実な方法として科学的に認められています。
ただし、がん検診で100%がんが見つかるわけではありません^{※1}。早期発見のためには継続して検診を受けることが重要です。



「要精密検査」と判定された場合

がん検診の結果、「要精密検査」と判定された場合は、必ず医療機関を受診してください。

「要精密検査」と判定された人の中で、がんと診断されるのは、100人に1～2人です。

多くの人は「がんではない」と診断されます^{※2}。しかし、もしも、がんだった場合、精密検査を受けないままだと、見つかるはずのがんを放置してしまうことになります。

精密検査は4つの組み合わせ

HPV検査

子宮の入り口の細胞を採り、HPV感染の有無を調べる。

コルポスコープ

腔拡大鏡で子宮頸部を詳しく観察する。

組織診

がん病変があると思われる部位から組織を採り、顕微鏡で観察する。

細胞診

子宮の入口の細胞をやわらかいブラシなどでこすり取り、細胞を顕微鏡で観察する。

■精密検査の結果について

精密検査の結果は、医療機関と市町村でも共有しています。

精密検査の結果は、がん検診の精度管理に欠かせない情報であることから、個人情報保護法の例外事項として、個人の同意がなくても市町村や検診機関に提供できるとして認められています。

※1 採取できた細胞の数が少ない場合など、がんを発見できないことがあります。これを「偽陰性」と言います。今回「異常なし」でも安心して定期的に検診を受けること、気になる症状があれば医療機関を受診することが早期発見のカギです。

※2 がんではないのに「要精密検査」と判定されることを「偽陽性」と言います。これは、ある程度までは避けようがなく、精密検査を行って初めてそれと分かるものです。この場合、結果的にみれば必要のない検査を受けたことになり、心理的・身体的負担を負うことになりますが、がんの疑いを除外するためにも精密検査を受けましょう。